

福岡フィルムコミッション支援映画

『^{かんたん}邯鄲の夢 三重芝居と四人の役者』の福岡上映及び舞台挨拶について

映画『邯鄲の夢 三重芝居と四人の役者』は、福岡市出身の^{みそらやたかお}三天屋多嘉雄さんが主演・監督・脚本を務め、大正時代に生まれた「^{しんしょうおんなざわしょうげき}真正女澤正劇」をベースとして、伝統芸能の文化保存の難しさを描いたオリジナル作品です。

令和3年度に福岡市内でも撮影されたこの作品は、ロンドン国際映画祭アジア部門での最優秀賞をはじめ、多くの映画祭で様々な賞を受賞した話題作で、今夏、東京や大阪から順次公開され、この度いよいよ福岡での公開が決定しました。

メディアのみなさまにおかれましては、ぜひ取材をお願い致します。

■上映及び舞台挨拶について

【スケジュール】 令和5年8月18日(金)

舞台挨拶 18:30~18:50

上映 18:50~21:05

【会場】 kino cinema 天神

(中央区警固1-15-38 カイタックスクエアガーデン 1号棟3階)

【登壇者】 三天屋多嘉雄さん(主演・監督・脚本)

(予定)

^{あけながきとし}明永喜年さん(プロデューサー)



三天屋多嘉雄さん

ロンドン国際映画祭をはじめ、
総勢8つの国内外の映画祭で
話題を呼んだ作品!

■あらすじ

脚本家の沢田冴之介(須賀貴匡)は仕事に行き詰まり、鬱積した日々を過ごしていた。冴之介はとある大衆演劇一座の後継者争いに巻き込まれた過去があった。当時、沢田(沢竜二)座長の後継者の座を狙っていた座長の息子・冴之介は、座長に剣劇の腕を認められ一座で一目置かれている弟子の三津葉銀次(松林慎司)を尊敬とともに妬ましく思っていた。ある日、稽古中、銀次の刃先が冴之介の片目を突いてしまう悲劇が起こる。冴之介は役者を続けられなくなり、銀次は一座を追いやられてしまう。2人の数奇な物語が始まるのだった。

■主なロケ地

福岡ファッションビル(博多区)、ホテルモントレ福岡(中央区)、コンポスト工場跡地(西区)

※福岡フィルムコミッションはロケ地の調整等支援を行いました。



映画公式
ホームページ



©明治産業

◆ このリリースに関するお問い合わせ先 ◆

福岡フィルムコミッション事務局
(経済観光文化局コンテンツ振興課内)
担当: 的野、古瀬

TEL 092-733-5171 (内線1803) FAX 092-711-4354
Mail contents.EPB@city.fukuoka.lg.jp

◆ 作品・舞台挨拶に関するお問い合わせ先 ◆

有限会社福陽開発 (担当: 徳永)
TEL 092-541-1325
Mail fukuyoukaihatu@gmail.com